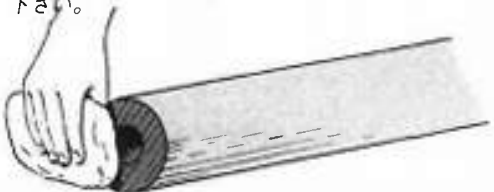
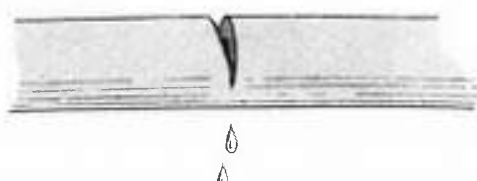
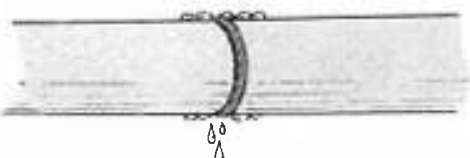
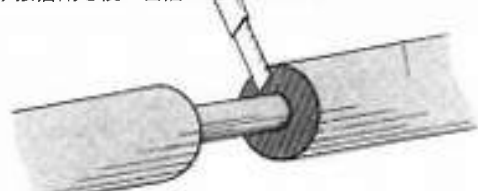
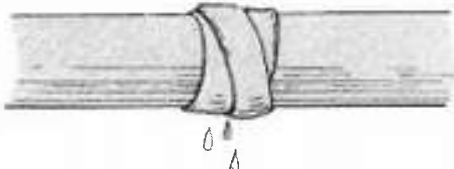
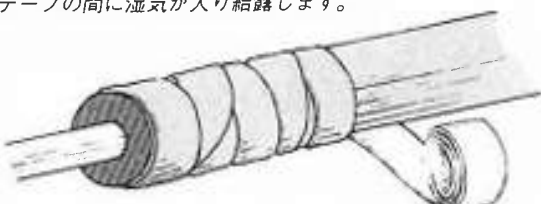
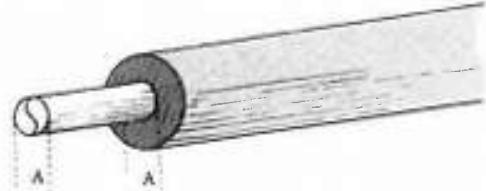
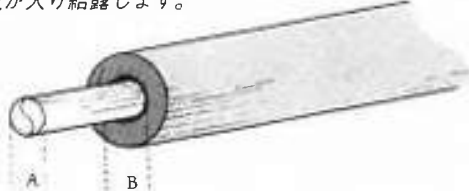
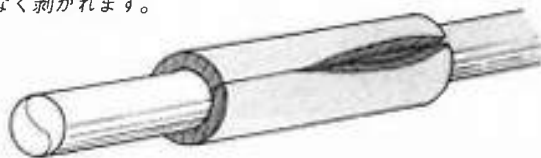


施工の一般注意事項

エアロフレックスを使う場合は、下記の事項に注意して下さい。

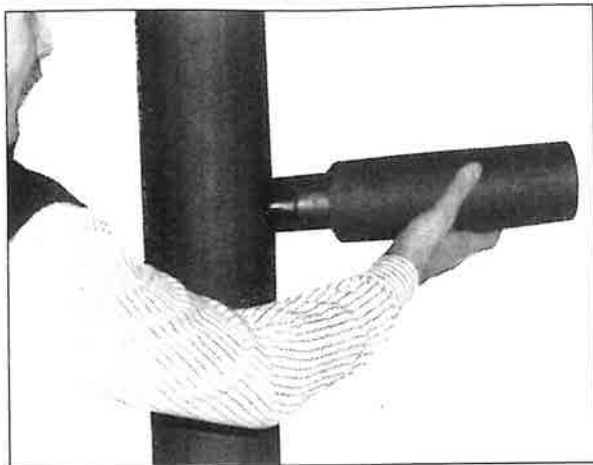
1. 接着の際 専用接着剤を使う場合は、先ず 接着面に着いている油やゴミを必ず拭き取って下さい。その後、専用接着剤を付けた後、3～5分たって密着させて下さい。
保温断熱効果を落とさない様に 接着面には 必ず全面に専用接着剤を薄く均一に付けて下さい。
又、組立、結合の場合は、結合部分を確実に決めてから専用接着剤で密着させて下さい。
一度接着させると剥がす事は出来ません。
2. 円周を測る場合は、その部分に使うエアロフレックスと同じ厚みのエアロシートを細く切ってそれで測って下さい。
その細く切ったエアロシートは、延ばしてはいけません。
3. バルブ、ゲート、Y型ストレーナーの様な、作業の難しい所は、エアロテープを巻いて、その上からエアロフレックス・シート等でカバーして下さい。

冷媒管の作業の注意事項

作業方法	禁止事項
1. 接着剤を付ける前に必ず粉、ゴミ、油等を拭き取って下さい。 	表面のゴミ、油に接着剤を付けた場合必ず剥がれる所が出来ます。 
2. 接着剤はナイフ又はハケで均一に延ばして下さい。 	接着剤を厚くした場合、熱伝導率が上がり結露現象を起こします。 
3. チューブとチューブの結合は、空気が入らないように必ず接着剤を使い密着させて下さい。 	接続部を接着テープのみで接続させた場合、冷媒管との間に隙間が出来ます。 
4. 湿度の高い場所では、エアロチューブのみを使用してその上にテープ等を巻かないようにして下さい。 	テープを巻いた場合、テープが緩み保温チューブとテープの間に湿気が入り結露します。 
5. 冷媒管に合ったエアロチューブを使用して下さい。 	管より大きいエアロチューブを使用した場合は作業はしやすいですが、これは冷媒管とエアロチューブの間に空気が入り結露します。 
6. 接着剤は接着させる両面に塗って下さい。そして指でさわって乾いてから結合して下さい。 	接着剤を塗って乾かさずに結合した場合は、密着せず間もなく剥がれます。 

パイプ直管と曲り

(組立てる前に)



エアロチューブは施工が容易で
作業時間が短縮されます。
内側にタルカムパウダーが吹きつけて
あるのでパイプを差し込む作業が、
スムーズに行えます。

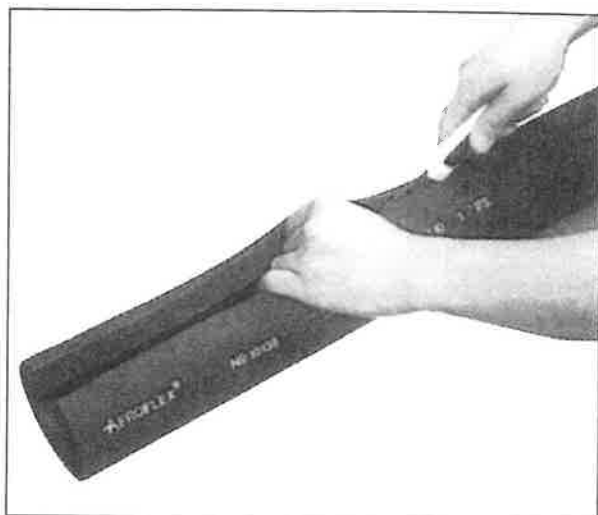
特にRの小さいパイプの曲がりでも
タルカムパウダーによって容易に
素早く作業出来ます。



接着剤を塗る場合はハケ、ナイフ
等で薄く塗って下さい。

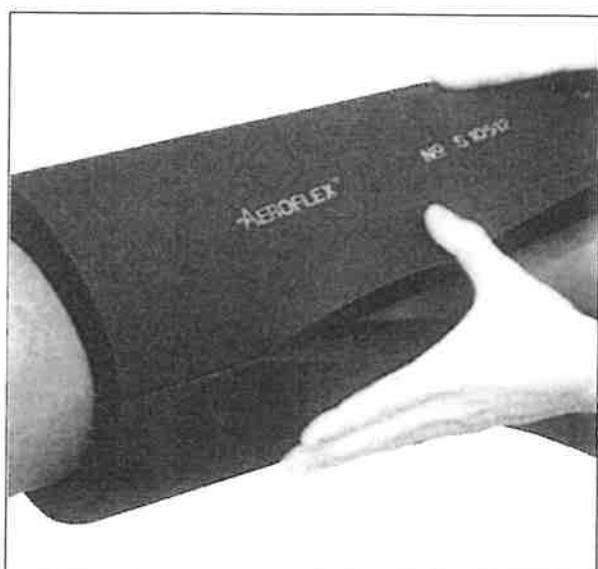
直管パイプと曲がり

(作業方法)



エアロチューブを縦割りで使う場合
一方だけ割ってパイプにかぶせて
下さい。

縦割りの両面に
接着剤を薄く塗ります。



専用接着剤を、塗って3～5分程して
から触って見て指が付かなくなって
から両面を押して密着させて下さい。